

「日々の理科」(第1380号) 2018 (H30), -4, 17  
 「目指せコンプリート! 春の野草探し(1)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

4年生理科の中核になる単元に「季節と生き物」がある。かつては3年生に配置されていたが、現在は気温と生き物の関係をよく考えさせることなど、発達段階を考えてそっくり4年に移っている。



子どもたちが自然観察をする場所としては、いくつかの条件が必要だ。

- ・ある程度の広さがあり、範囲を決めて自由に安全に活動できる、日当たりの良い空間がある。
- ・適度に風致され(手入れされず)、その土地の気候に適した野草や昆虫が何種類も存在する。
- ・敷地内やその周辺に、適度に樹木が存在する。

幸い、本校がある大学構内には、このような条件の場所が複数存在する。上の写真は学生会館前の中庭で、イタドリが多いことから、本校では昔から「イタドリ広場」と呼ばれている。本当に有難い存在だ。



4年生理科の最初の2時間続きの授業で、私はさっそく子どもたちを「イタドリ広場」に連れていった。最初は何も指示をせず、ポリ袋1枚だけを持たせて、花でも虫でも自由に採取・観察させても良い。しかし、ここは生き物を対象にした学習ということを考え、ちよっと変わったワークシートを用意した。同僚の理科教員が作ってくれたものを、画用紙に印刷したものだ。

春の野草見つけ						
			年 月 日 ( ) 天気	気温	℃ 湿度	%
オオイヌノフグリ	オランダミミナグサ	カタバミ	カラスノエンドウ	キュウリグサ	シロツメクサ	
スズメノカタビラ	セイヨウタンポポ	タチイヌノフグリ	ドクダミ	ナズナ	ハコベ	
ハルジオン	ヒメオドリコソウ	ホトケノザ	ク	年 組 番 研究所		
				メンバー		

(2ページ目に拡大画像あり)

画用紙には四角い枠が15区画あり、それぞれに4月に花を咲かせる植物名(カタカナ)が印刷してある。これを班(本校では班のことを「研究所」と呼ぶ)に1枚渡して、協働して植物を探すのである。植物のリストは以下の通りだ。

- オオイヌノフグリ・オランダミミナグサ  
 カタバミ・カラスノエンドウ・キュウリグサ  
 シロツメクサ・スズメノカタビラ・ホトケノザ  
 セイヨウタンポポ・タチイヌノフグリ・ドクダミ  
 ナズナ・ハコベ・ハルジオン・ヒメオドリコソウ



植物名だけでは探せないで、班に1冊「案内書」を渡してある。ある博物館が制作したものだが、これが素晴らしい内容で、活動に非常に役立つ。

## 春の野草見つけ

\_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日 ( \_\_\_\_ ) 天気: \_\_\_\_\_ 気温: \_\_\_\_\_ °C 湿度: \_\_\_\_\_ %

オオイヌノフグリ	オランダミミナグサ	カタバミ	カラスノエンドウ	ギョウリグサ	シロツメクサ
スズメノカタビラ	セイヨウタンポポ	タチイヌノフグリ	トクダミ	ナズナ	ハコベ
ハルジオン	ヒメオドリコソウ	ホトケノザ	?		

  

年	組	第	研究所
メンバー			